

## 事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月28日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	温泉施設管理事業			コード	95801	
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	水道課	作成者	片倉 俊幸
3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち			
		政策	安全・安心な暮らしの確保	施策	上下水道の整備・維持	
		予算科目	温泉事業特別会計	業務委託	一部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	温泉事業給湯条例			

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要 （簡潔に）	温泉利用者のため、適正な維持管理により温泉の安定供給を図るとともに、温泉使用料を適切に徴収する。		
目的	対象者	温泉利用者	
	意図	良質な泉質を適正に維持管理し提供する。	

5 施設の管理運営状況				
指定管理者			25年度指定管理料	円
施設における 通常業務	①温泉スタンドによる温泉の供給 ②各施設への温泉の給湯			
事業の実施内容	(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など) 上記通常業務のほか、源泉ポンプ及び揚湯管等の取替えを行ったほか、温泉スタンド販売機修繕を行い、適正な施設管理に努めた。 修繕費12,588千円			
前年度の課題 への対応	将来の大規模修繕に備えるため、繰越金の確保を図るため、経費節減に努めた。			

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	99.2%	99.5%	99.5%	
年間開設日数（日）	366	365	365	365
1日の開設時間（時間）	12	12	12	12
年間利用可能時間（時間）	4,392	4,380	4,380	4,380
年間利用実績（時間）	4,356	4,356	4,356	
② 年間利用者数（人）	21,335	20,481	19,637	18,662
有料利用者数	20,563	19,855	18,893	17,948
無料利用者数	0	0	0	0
減免措置者数	772	626	744	714
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	58.3	56.1	53.8	51.1
⑤ 施設利用状況の説明				

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	22,048,043	21,384,119	21,021,168	16,603,000
経常経費	4,859,543	11,827,075	6,337,389	6,043,000
臨時的経費	17,188,500	9,557,044	14,683,779	10,560,000
* 臨時的経費の説明	修繕費、企業債元金利子償還			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	1,685,000	1,680,000	1,765,000	1,156,000
正規職員の人数(人)	0.21	0.21	0.22	0.14
③ 合計コスト(①+②)	23,733,043	23,064,119	22,786,168	17,759,000
前年度比		97.2%	98.8%	77.9%
財源				
一般財源	-22,105,940	-17,705,121	-13,276,712	-124,000
内訳				
特定財源	45,838,983	40,769,240	36,062,880	17,883,000
* 特定財源の説明	メタル販売収入、給湯使用料ほか			
④ 施設使用料年間収入額	15,869,837	16,274,550	16,652,900	15,933,000
⑤ 年間減免措置額	88,800	74,000	88,900	83,900
⑥ 受益者負担割合	72.4%	76.5%	79.6%	96.5%
⑦ 活動一単位あたりコスト	307	659	413	
前年度比		215.0%	62.6%	
⑧ コストに関する補足説明				

## ●事業の評価(CHECK)

### 8 妥当性評価

\* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		0
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

### 9 有効性評価

\* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数	前年度比 95.9%
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額	前年度比 102.3%

## ●改善の内容(ACTION)

### 10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	将来の大規模修繕に備えるため、経費削減等により繰越金の確保を図る。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	計上経費等について削減を継続する。	
改善開始時期	平成26年4月より	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B	
13 大規模修繕の予定				
予定事業費	未定	円	予定時期	未定
内容	源泉から各施設への給湯管路の老朽化に伴う敷設替え。			